

報道各位

新潟市立新潟小学校

第5学年 総合的な学習の時間

## 多世代の交流拠点「子ども食堂」実施します！

標記の件につきまして、下記の通り実施いたします。つきましては、貴社の取材により、より多くの皆様に広報していただきたくお願い申し上げます。

記

### 5学年 総合的な学習の時間 子ども食堂実施計画

0 はじめに

子ども食堂は、地域住民や自治体が主体となって無料または低料金で子どもたちに食事を提供するコミュニティの場である。2012年に東京都大田区の八百屋の店主であった近藤博子さんが始めた。発足当初は、貧困世帯に焦点を当てていた。しかし、現在は「多世代の交流拠点」として各地に広がりを見せている。「子育てがしやすい地域」「老後も安心して暮らせる地域」「困ったときに助け合える地域」にするために、活動しているボランティアの方たちがたくさんいる。地域のつながりが希薄になってきた現代社会の中で、食を通して地域のつながりを再構築しようとしているのである。「多世代の交流拠点」という部分に焦点を当てて学習を進めてきた。

1 ねらい

地域の方と協働して子ども食堂を開催することを通して、地域のつながりをつくりだす価値に気付くことができる。

2 日時 **令和5年1月12日(木)** 【1月26日(木)、2月9日(木)も実施する】

3 場所 新潟小学校 4階多目的ホール

4 時間

8:40 子ども食堂のボランティアの方と調理開始

11:40 調理終了

12:00 子ども食堂開店

13:00 終了

※当日は、調理の関係で時間が前後する可能性がある。時間が早まった場合は、教室で活動の振り返りなどを行う。

## 5 内容

1月12日(木)5年2組:カレーライス+かぶのプレゼント

1月26日(木)5年1組:シチュー+チヂミ

2月 9日(木)5年3組:カレーライス+ポトフ

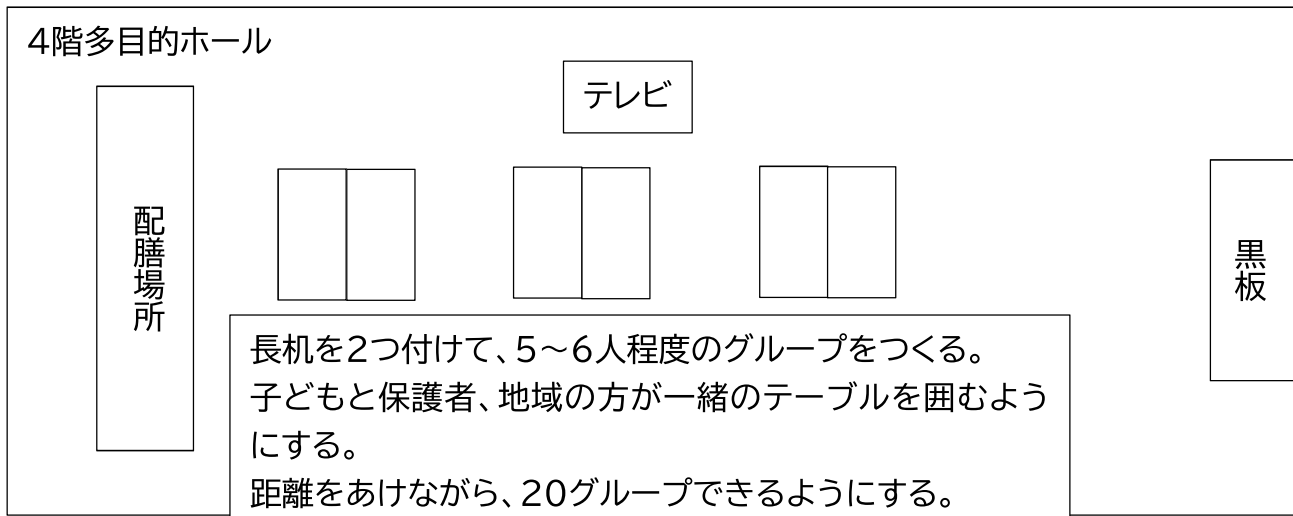
開催当日は、活動の経緯を子どもたちが説明する。

## 6 対象

子ども食堂開催学級の保護者及び親族 自治会長 コミュニティ協議会 民生委員  
社会福祉協議会職員 寄居かぶ栽培でボランティアに来てくださった方(新潟県労働金庫職員)

上述の対象者には、事前に参加希望紙を配付し参加の意思を聞いておく。

## 7 会場図



## 8 その他

- ・飲食用の食器は、使い捨ての物を購入する。
- ・無料で食事を提供する。(無料でないとイベント扱いになり、保健所の許可が下りない。申請書は必要ない。保健所に確認済み)
- ・当日来校者は、学校の玄関から入り、第一階段を使用して4階まで上がっていただく。必要に応じてエレベーターも使用する。
- ・飲み物は、ペットボトルの水かお茶か麦茶を選んでいただく。
- ・当日、該当学級が学級閉鎖措置の場合は中止とする。(速やかに関係者へ連絡する)

**取材にご協力いただける場合は、下記担当まで事前にご連絡下さい**

新潟市立新潟小学校

担当:主幹教諭 牛腸(ごちょう) 電話:025-228-3059

Fax:025-228-0189

MAIL:e305tanpopo@city-niigata.ed.jp